

令和6年度 公の施設目標管理型評価書【指定管理者施設用】

施設名	新潟市ふれあい健康センター（愛称:アクアパークにいがた）		
管理者名	福田道路・オーエンスグループ	指定期間	令和6年4月1日～令和11年3月31日
担当課	環境部循環社会推進課		
所在地	新潟市西区笠木3629番地1		
根拠法令			
設置条例	新潟市ふれあい健康センター条例		
施設概要	敷地面積: 17,065.43㎡ 鉄筋コンクリート造2階建 延床面積: 3,823.92㎡ 建築面積: 2,605.34㎡ 主な施設内容 1階: アクアガーデン(流水プール, 幼児用プール, 気泡・噴流プール, たこつぼ湯, 座湯, 寝湯, ミストサウナ, 屋外ジャグジー), フロント, ロビー 2階: 浴室(人工温泉風呂, ドライサウナ, 水風呂, 更衣室), レストラン, カフェラウンジ, ロビーラウンジ, エクササイズスタジオ, 休憩室, マッサージ室, キッズルーム		

施 設 設 置 目 的
市民の健康の増進に寄与するとともに、リサイクル意識の向上に資することを目的として、新潟市ふれあい健康センターを設置する。
管 理 ・ 運 営 に 関 す る 基 本 理 念 , 方 針 等
設置目的を達成し、地域の憩いの場として、又は気軽なレクリエーション施設として活用されることを目指して次の点に留意して事業を行う。
①市民が広く利用する、公の施設であるという性格を十分認識する。 ②利用者にとって快適な施設の環境づくりを目指す。 ③より多くの人に利用してもらえるよう利用促進に努める。 ④日常点検及び定期点検により適切に保守・整備を行い、常に施設を最良の状態に保つ。 ⑤利用者の安全を最優先に考える。 ⑥効率的な運営を行い、経費の節減に努める。

視 点	評価項目	評価指標	実績	評価	評価コメント
市 民	広報の充実	HPやSNSでの情報発信 年12回以上	リサイクル意識向上啓発事業参加者募集や開催状況、保全工事進捗状況など計12回以上の情報発信を行った。	A	リサイクル啓発事業は、HPや市報などで広報することにより、集客に努め、保全工事の進捗においては、SNSを活用し、情報発信を多数行っていた。また、既存のHPを一新したり、デジタルサイネージを活用し、広報も行っていることは評価できる。
	市民のリサイクル意識の向上	リサイクル意識向上啓発事業を年4回以上実施	リサイクル意識向上啓発事業を年4回実施し、参加人数50名であった。	B	
財 務	適正な財政運営	収支計画に基づいた収入の確保及び経費執行	年間を通して休館であったため、収入は指定管理料のみであった。経費支出が予算超過し赤字決算となった。	C	収支計画に基づいた経費執行という面においては、修繕費や広告宣伝費などの増による支出が増加し、収支としてはマイナスとなった。
	適正な財務管理	財務マニュアルの作成及び収支の記録	財務マニュアルに沿って収支を記録し、報告した。	B	
業 務	安全確保体制の確立	緊急時の対応マニュアルを整備するとともに、救急救命全体訓練、プール監視員救助訓練、防災訓練を年1回以上実施	緊急時の連絡先を改定し、救急救命訓練、プール監視員訓練、防災訓練を各1回実施。	B	
	業務使用書等に定める事項の遵守	その他業務仕様書等に定める事項の遵守	業務仕様書に定める事項を日程を定め遵守、履行した。	B	
人 材	職員の業務理解度と能力向上	職員研修を年1回以上実施	安心安全なサービスの提供の観点から職員研修を実施した。	B	フロント、プール、レストランと各セッションにおいて、教育と訓練を実施。
	労働基準の充足	労働関係法令の遵守	就業規則、雇用契約、賃金他労働関係法令を遵守している。	B	

【評価基準】

A: 要求水準(評価指標)を達成し、かつその達成度・内容が優れている

B: 要求水準(評価指標)が達成されている

C: 要求水準(評価指標)が達成されていない

※評価について、「A」を付ける場合は「優れている点」を、「C」を付ける場合は「達成されていない点」を、「評価コメント」欄に明記してください。(評価指標が達成されているだけなら「B評価」で、その達成度や内容が優れていなければ「A評価」とはなりませんのでご注意ください。)

指定管理者記載欄(アピールしたい事項・未達成項目への改善策等)

リサイクル意識向上啓発事業においては、保全工事により施設が利用出来なかった為、他の施設を借用して開催を行い実施回数4回、参加者数50人と計画目標値に達しております。HPやSNSでの情報発信については、HPをリニューアルして見やすくするなどの工夫をし、利用者離れを防ぐためにリサイクル啓発事業や保全工事の進捗状況、リニューアルオープン情報などを発信しました。現在、アクアパークにいがたで公式に運用しているXのフォロワー数625人、LINEのお友達数361人、Instagramフォロワー数192人と着実に人数を増やしており、営業再開の期待度を感じ取る事ができました。令和7年度の営業再開後は、安全・衛生的で利用者寄り添ったサービスを提供して、また利用しなくなる施設運営を展開することで利用者数を増やし、健全な財政収支となるよう取組みます。

所 管 課 に よ る 総 合 評 価 (所 見)

令和6年度は保全工事期間ということもあり、特殊な施設運営となった1年であった。経費執行面においては、修繕工事や広告宣伝費などの経費が高み、最終的には収支がマイナスとなってしまった。しかし、リサイクル啓発事業の実施や保全工事の進捗状況、令和7年度のリニューアルオープンに向けた情報発信を、様々な媒体を利用し実施していたことは高く評価できる。その他、安全確保を目的とした訓練や令和7年度からの営業再開に向け、職員への研修も丁寧に行っていた。今後は、収支計画に基づく執行管理や利用者増加による収入の増を目指し、収支改善を図りたい。